第 51 回数理社会学会大会プログラム

日時：2011 年 3 月 8 日（火）～3 月 9 日（水）
会場：沖縄国際大学(5 号館)
大会委員長：友知政樹（沖縄国際大学）

大会参加費は以下のとおりです.

参加費：	**一般（会員）**	2,500 **円**	**学生・院生（会員）**	2,000 **円**
	一般（非会員）	3,000 **円**	**学生・院生（非会員）**	2,500 **円**
懇親会費：	**一般**	4,500 **円**	**学生・院生**	3,000 **円**

不明な点については下記へお問い合わせください.

大会事務局：〒901-2701　沖縄県宜野湾市宜野湾 2-6-1
沖縄国際大学経済学部　友知政樹研究室
E-mail: mtomochi@okiu.ac.jp　TEL: 098-893-6741 (直通)　FAX: 020-4667-2415

【3 月 7 日 ㈪】

14：00 ～ 16：00　**編集委員会（**てんぶす那覇 2 階　那覇市伝統工芸会館・研修会議室**）**
16：00 ～ 19：00　**理事会　（**てんぶす那覇 2 階　那覇市伝統工芸会館・研修会議室**）**

【3 月 8 日 ㈫】

9：00　**開場・受付開始**
9：25　**開会**　大会委員長　友知政樹（沖縄国際大学）　**204 号教室**

【第 1 部会】ゲーム理論による制度分析（9：30-10：30）　204 号教室

司会：大浦宏邦（帝京大学）

1.貨幣の成立条件についてのゲーム理論的分析
武藤正義（芝浦工業大学）　20+10=30 分

2.無限繰り返しゲームによるコモンズ・ジレンマの分析――利他的懲罰による均衡維持メカニズムの定式化
吉良洋輔（東北大学大学院）　20+10=30 分

＊＊＊＊＊　コーヒーブレイク　＊＊＊＊＊

【第 2-1 部会】階層研究の現在（10：40-12：10）　204 号教室

司会：田辺俊介（東京大学）

1. 食料威信スコアの測定と応用――食生活への社会階層の影響
小林盾（成蹊大学）　20+10=30 分

2. 階級、世帯形成と貧困
長松奈美江（関西学院大学）　20+10=30 分

3. 日本と韓国における親子関係と子どもの成績――社会関係資本論の観点から
○竹ノ下弘久（静岡大学）松田茂樹（第一生命経済研究所）
裵智恵（慶應義塾大学）渡辺秀樹（慶應義塾大学）　20+10=30 分

【第 2-2 部会】ゲーム理論の応用（10：40-12：10）　203 号教室

司会：河野敬雄

1.SNS 活性化メカニズムの理論分析

○七條達弘（大阪府立大学）福田恵美子（防衛大学校）　20+10=30 分

2.順次性のあるリスク選択ゲームの適応的戦略

○岡田勇（創価大学）　山本仁志（立正大学）　20+10=30 分

3.期待順位に基づく英国研修医マッチング制度の再検討

関口卓也（東京工業大学大学院）　20+10=30 分

＊＊＊＊＊ 12：10-13：00 昼食 ＊＊＊＊＊

【第 3 部会（ポスター）】萌芽的セッション（13：00-14：20）　208 号教室

1.社会的紐帯の形成に関する日米比較分析

石田賢示（東北大学）

2.Web 調査モードの追加は回収率を上昇させるのか――統制群がない場合に選択肢追加の効果を評価する

○山本耕資（慶應義塾大学）　直井道生（東京海洋大学）

3.自殺率のベイズ推定モデルの検討――既存推計値の修正と新推計法の提案

○与謝野有紀（関西大学）

紺田広明（関西大学社会的信頼システム創生センター）

4.職業・産業自動コーディングシステムの Web 公開に向けて

○高橋和子（敬愛大学）　魏大比（東京工業大学）

田辺俊介（東京大学）吉田崇（東京大学）

5.ゲーム理論を用いた国家間の軍事的外交戦略考察

○宗宮洋介(芝浦工業大学)　武藤正義(芝浦工業大学)

6.失業リスクの規定構造とその変化にかんする日台比較分析

阪口祐介（大阪大学）

7.知り合いを含む群集運動の基礎特性

○大塚一路(東京大学, 内閣府 ESRI)　西成活裕(東京大学, JST さきがけ)

Giuseppe Vizzari , Stefania Bandini (University of Milano–Bicocca)

8.コミュニティ・ユニオンにおける集合行為のメカニズム――フィールドワークと数理モデルによるアプローチ

○大林真也（東北大学）　金澤悠介（立教大学）

9.潜在クラス成長分析による社会階層と抑うつ感悪化プロセスの関係の検証

中田知生 (北星学園大学)

10.外国人増加の賛否に対するマルチレベル分析――出身国の違いと地域特性に着目して

田辺俊介（東京大学）

11.地位と階層帰属意識、その平等主義意識への影響について

井出知之（東北大学大学院）

12.猿害対策から見る人と自然の関係の地域間変異

堀内史朗（明治大学）

13.評判を用いた協力の進化におけるノイズの影響の検討

○熱田啓保（芝浦工業大学）　中井豊（芝浦工業大学）

14.都市圏に居住する単身世帯・夫婦のみ世帯の後期高齢者の生活能力変化――5 年間のパネル調査より

渡邉大輔（成蹊大学アジア太平洋研究センター）

【第 4-1 部会】就業における階層間格差（14:30-16:00） **204 号教室**

司会：平沢和司（北海道大学）

1.若年層の正規／非正規労働の地位と離転職傾向の関係－JGSS-2009 ライフコース調査の職業経歴を用いた分析

中澤渉（東洋大学） 20+10=30 分

2.性別職域分離の地域間比較

〇織田暁子（京都大学） 大和礼子（関西大学）

太郎丸博（京都大学） 20+10=30 分

3.大卒就職において OB 利用の効果は衰退したのか――OB の機能に着目して

鈴木伸生（東北大学大学院） 20+10=30 分

【第 4-2 部会】Relative Deprivation and Exclusion（14:30-16:00） **203 号教室**

司会：三隅一人（九州大学）

1.相対的剥奪のパラドックス 〇髙坂健次（関西学院大学）石田淳（関西学院大学）

浜田宏（東北大学） 20+10=30 分

E 2. Status Anxiety, Subjective Exclusion and Happiness: Perceptions of crisis in Germany and Japan

Carola Hommerich, German Institute for Japanese Studies (DIJ), Tokyo

20+10=30 分

3.「機会不平等に起因する相対的剥奪」によるジニ係数の分解

石田淳（関西学院大学） 20+10=30 分

＊＊＊＊＊ コーヒーブレイク ＊＊＊＊＊

【第 5-1 部会】コミュニケーションの分析と支援（16:10-17:10） **204 号教室**

司会：高橋和子（敬愛大学）

1. 異なる組織におけるコミュニケーション応答特性の共通性

〇板谷聡子†，吉永直生†，Peter Davis‡，田仲理恵†，小西琢†，土井伸一†，山田敬嗣†

（NEC C&C イノベーション研究所†，株式会社テレコグニックス‡） 20+10=30 分

2. 収斂プロセス支援のための匿名保証型 GDSS の拡張

――参加者の相互作用に関する問題検討と支援機能の追加設計

〇岩井淳（群馬大学） 吉崎陽介（群馬大学）

佐渡一広（群馬大学） 富山慶典（群馬大学） 20+10=30 分

【第 5-2 部会】ネットワークのモデルと実証（16:10-17:10） **203 号教室**

司会：井上寛（九州工業大学）

1. 社会ネットワークを介した資源の再分配と不平等――スモールワールド・シミュレーションによる検討

鈴木努（東京工業大学） 20+10=30 分

2. 山村集落のネットワーク構造――並べ替え検定を用いた検討

〇辻竜平（信州大学） 村山研一（信州大学） 20+10=30 分

【総 会】 17:10-18:00 **204 号教室**

【懇親会】18:30- **ぱいかじ沖国大前店**

【3 月 9 日 (水)】　9:00 開場

【第 6-1 部会】結婚の数理と実証（9：30-10：30） **204 号教室**

司会：筒井淳也（立命館大学）

1. 学歴・階層同類婚の趨勢分析　吉田崇（東京大学）　20+10=30 分
2. 近傍依存性に基づく初婚関数の導出
   池周一郎（帝京大学）　20+10=30 分

【第 6-2 部会】時間と意識（9：30-10：30） **203 号教室**

司会：高坂健次（関西学院大学）

1. 社会意識がもつ時間の厚みについて――階層帰属意識の変化のシミュレーションによる再現
   数土直紀（学習院大学）　20+10=30 分
2. 回顧項目の妥当性検証　林真広（大阪大学）　20+10=30 分

＊＊＊＊＊　コーヒーブレイク　＊＊＊＊＊

【第 7-1 部会】データから何が見えるか（10：35-12：05） **204 号教室**

司会：中田知生（北星学園大学）

1. マクロな指標から何が推測できるか，その限界――高齢者家計調査から考えたこと
   河野敬雄　20+10=30 分
2. マイクロデータに対するマルチレベルモデルの適用可能性――NFRJ08 による親子関係良好度の分析
   筒井淳也（立命館大学）　20+10=30 分
3. WVS データによる一般的信頼の構造の国際比較
   大浦宏邦（帝京大学）　20+10=30 分

【第 7-2 部会】協調を導くメカニズム（10：35-11：35） **203 号教室**

司会：桜井芳生（鹿児島大学）

1. 悪事千里を走る？――ワンステップ内の評判の効果
   朝岡誠　(東京大学)　20+10=30 分
2. 裏切りがもたらすメタ規範ゲームにおける協調の安定
   ○山本仁志（立正大学）　岡田勇（創価大学）　20+10=30 分

12：10　**閉会**　大会委員長：友知政樹（沖縄国際大学）　**204 号教室**

＊＊＊＊＊ 12：10-13：00 昼食 ＊＊＊＊＊

【ワンステップアップ・セミナー】R によるネットワーク分析の実践

13：00 ～ 16：00**（途中休憩あり）**

講師：鈴木努（東京工業大学）　**208 号教室**

（備考）
1. ○印は登壇者を示します．E は英語による報告です．The symbol E stands for English presentation.
2. 「20+10=30 分」は,「発表 20 分と討論 10 分で合計 30 分」を意味します.
3. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます．これまでに書かれた論文・報告書・マニュアル等で配布できるものがあればお寄せください. 印刷物だけでなく, 自作のコンピュータ・ソフトウェアなどもどうぞ．事前にお送りいただいても結構です.「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛にお送り下さい.